

柏市上下水道局水道工務課図面作成基準

2 0 2 6

(令和 8 年度)

柏市上下水道局水道工務課

柏市上下水道局水道工務課図面作成基準・目次

1 総論	1
1.1 策定の目的	1
1.2 図面レイアウト	2
2 総則	3
2.1 適用範囲	3
2.2 図面様式	4
2.3 CADデータの作成	8
3 管路	11
3.1 図面の種類および順番	11
3.2 寸法単位	12
3.3 位置図	13
3.4 管網図	13
3.5 平面図	14
3.6 配管詳細図	14
3.7 横断図	15
3.8 構造図	15
3.9 土工標準図	15
3.10 仮設構造図	16
3.11 給水平面図	16
3.12 給水切替図(給水取出標準図・給水切替一覧表)	16
3.13 仮設平面図	16
3.14 仮給水切替図(仮給水取出標準図・仮給水切替一覧表)	16
3.15 舗装復旧平面図	17
3.16 図示記号	18
4 付属資料	21
4.1 レイヤ名一覧	21
4.2 見本図面	23

1 総論

1.1 策定の目的

柏市上下水道局水道工務課（以下、水道工務課という）において従来図面は、JIS A 0101:2003「土木製図通則」、土木学会制定「土木製図基準」等により作成されてきた。一方、国土交通省においては、「CALS/EC アクションプログラム」に基づき、公共事業に関する図面、写真等の成果品を、以降の業務プロセス等において有効活用すること等を目的に、成果品を電子データにより提出する電子納品を開始し、「CAD 製図基準（案）」が平成 20 年 5 月、国土交通省から刊行された。

水道工務課で設計し、管理する図面に関する本基準は、「CAD 製図基準（案）」に準拠し、管路設計に必要となる図面様式、CAD データ仕様、各図面に必要となる詳細事項を定めたものである。

1.2 図面レイアウト

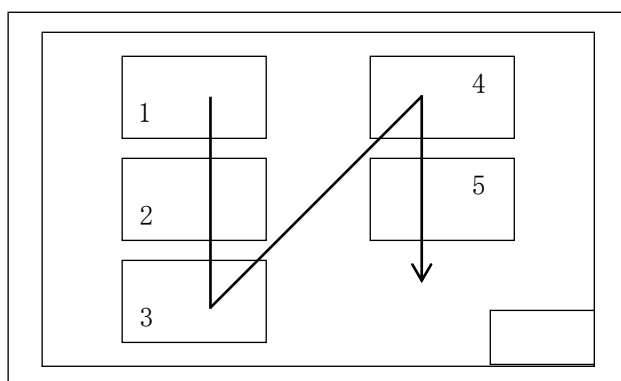
設計図面表記は、以下とする。

(1) 平面図

測点の配列方向は、水源地側を起点とし、起点から終点に向かって追番号とする。

(2) 横断図

断面は、起点から終点方向を見ること。横断図の配置は図に示す通りとし、測点の番号順に→の方向に配置する。また、原則として表題欄に重ならないようにする。



(3) 縦断図

図面上の測点配列方向は、平面図の配列方向に合致させるものとし、施工区間の前後の関係をj知ることの出来る若干区間を記載する。平面図と縦断図を併記する場合は、原則的には上段に平面図、下段に縦断図とする。

2 総則

2.1 適用範囲

本基準は、配管設計業務の成果図面、水道工事の完成図等に適用する。

作図一般、記号、線の一般的用法、その他この指針に定めのないものは、以下の規定等によること。

- (1) CAD 製図基準（案）（平成 29 年 3 月，国土交通省）
- (2) 土木製図基準（2009 年改訂版，社団法人 土木学会）
- (3) JIS Z 8310（2010 年，日本産業規格）

2.2 図面様式

(1) 図面の大きさ

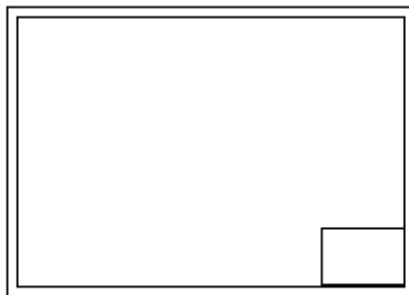
- ア 図面の大きさは、JIS Z 8311 : 1998 (ISO5457 : 1980) による A シリーズのうち A1 判を標準とする。ただし、これによることが困難なときは、A0 判又は A3 判を使用してもよい。
- イ 路線平面図等が規定寸法の大きさに作図できない場合は、分割して作成すること。
- ウ 原図の品質は、スキャナー読み込みに適する良質な用紙を用いる。

表- 2.1 図面の大きさ (単位 : mm)

	規格寸法
A0 判	841×1189
A1 判	594×841
A2 判	420×594
A3 判	297×420

(2) 図面の正位

図面は、その長辺を横方向においた位置を正位とする。



(3) 外枠と余白

図面には輪郭を設ける。輪郭線は実線とし線の太さは 0.7mm を標準とする。輪郭外の余白は 20mm 以上を標準とする。

(4) 表題欄

ア 表題の位置

表題は、原則として図面の右下隅輪郭線に接して記載する。

イ 記載事項

表題欄の記載事項は以下の項目を標準とする。

(工 事 名) 業務名又は、工事件名を記載する。

(工事箇所) 工事箇所(住所など)を記載する。

(図 面 名) 図面名称を記載する。

(作成年月) 図面を作成した年月等を記載する。

(縮 尺) 紙出力する際の縮尺を記載する。

(図面番号) 図面番号を記載する。

(会 社 名) 設計会社名等を記載する。
(契約用図面では、無記入)

(事業者名) 千葉県柏市上下水道局

ウ 表題欄の様式

表題欄の寸法及び様式は、図- 2.1 を標準とする。

工 事 名				10
工事箇所				10
図面名				10
作成年月日				10
縮 尺		図面番号		10
会社名				10
事業者名				10
20	30	20	30	70
100				(単位：mm)

図- 2.1 表題欄の寸法及び様式

(5) 工事箇所の表記について

工事箇所の表記は、以下のとおりとする。

ア 基本的な表記

・ 柏市〇〇□丁目△番先

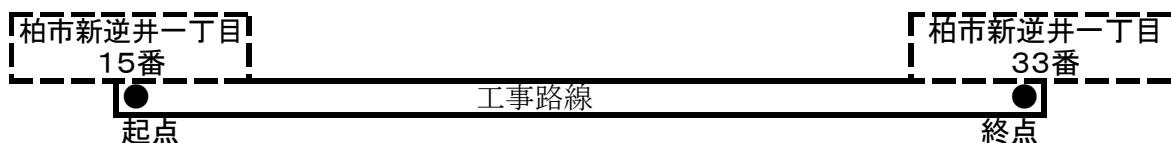
(例) 柏市逆井五丁目 9 番先

柏市新十余二 1 0 番先

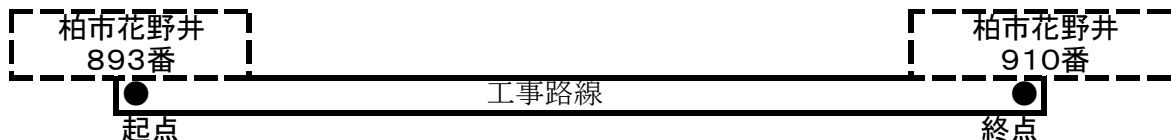
イ 一定の延長があり、字名が同じで、番がまたがる場合

・ 柏市〇〇□丁目△番先から同▲番先まで

(表記例) 柏市新逆井一丁目 1 5 番先から同 3 3 番先まで



(表記例) 柏市花野井 8 9 3 番先から同 9 1 0 番先まで



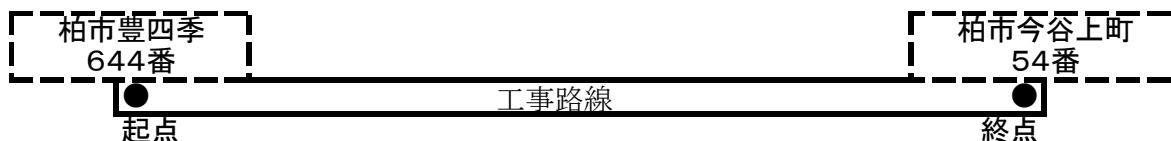
ウ 一定の延長があり、字名が異なる場合

・ 柏市〇〇□丁目△番先から●●■丁目▲番先まで

(表記例) 柏市藤心二丁目 3 番先から東逆井一丁目 1 2 番先まで



(表記例) 柏市豊四季 6 4 4 番先から今谷上町 5 4 番先まで



エ 留意点

(ア) 住居表示における「丁目」を表す数字は、漢数字を用いる

(イ) 「号」は記載しない。

(ウ) 字名が同じ場合は、「同」を必ず記載する。

(エ) 上記(5)イ及びウの「一定の延長」において、その記載は、「『工事の起点』から『工事の終点』まで」とする。また、1つの工区で工事路線が複数ある場合は、主となる工事路線を記載した後、「他」と追記する。(例：柏市〇〇□丁目△番先から●●■丁目▲番先まで 他)

(6) 尺度

土木製図基準では、1:Aにおいて、Aは $1 \times 10n$ 、 $2 \times 10n$ 、 $5 \times 10n$ をなるべく優先し、 $1.5 \times 10n$ 、 $2.5 \times 10n$ 、 $3 \times 10n$ 、 $4 \times 10n$ 、 $6 \times 10n$ を次善としている。よって尺度（縮尺）は以下を標準とする。

1:3, 1:5, 1:10, 1:20, 1:30, 1:50, 1:100, 1:200, 1:250, 1:300, 1:500, 1:1,000
--

※ここで定める尺度とは紙に出力する場合の尺度（縮尺）のことである。

2.3 CADデータの作成

(1) CADデータファイルのフォーマット

CADデータファイルのフォーマットは原則としてDWG、またはDXFとする。

※DWG：米オートデスク社のAutoCADシリーズ（AutoCAD LT、AutoCAD Mechanicalなど）の標準ファイル形式

※DXF：AutoCADの異なるバージョン間のデータ互換を目的として策定されたが、仕様が開示されているため多くのCAD製品で扱われるようになり、CAD図面の情報交換における「事実上の標準」となっているファイル形式

(2) レイヤーの分類

図面オブジェクトを内容別に表-2.2の項目に分類する。

表-2.2 レイヤーの分類

図面オブジェクト		記載内容
外枠	TTL (TiTLe)	外枠、表題欄、区切り線、文字 等
現況	BGD (BackGround Drawing)	現況地物、埋設物、ラスタ化された地図、既設管、他企業埋設管、旗上げ 等
基準線	BMK (BenchMarK)	構造物基準線、基準となる点（測点）、用地境界、旗上げ 等
主構造	STR (STRucture)	構造物、寸法線・寸法値、文字列、旗上げ 計画管、切管寸法、拘束長 等
材料表	MTR (MaTeRial)	材料表図枠、文字 等
塗りつぶし	DCR (DeCoRation)	ハッチ、シンボル、塗りつぶし、記号 等

(3) 色

CADデータ作成に用いる色は、原則として黒、赤、緑、青、黄色、マゼンダ、シアン、白、牡丹、茶、橙、薄緑、明青、青紫、明灰、暗灰の16色とする。

(4) 線

ア 製図に用いる線は、JIS Z 8312:1999「製図—表示の一般原則—線の基本原則線」に準ずる。

イ 線種は、原則として実線、破線、一点鎖線、二点鎖線、の4種類を使用する。
線種と主な用途は表- 2.3 のとおり。

表- 2.3 線種

線種	線形	用法
実線	—————	外枠、表題欄、材料表、現況地物、構造物、設計路線・管、寸法及び寸法補助線、旗揚げ
破線	-----	埋設物、既設水道管、見えない部分を示す線
一点鎖線	- · - · - · - · - · - ·	基準線
二点鎖線	- · - · - · - · - · - ·	埋設物、他企業（電気、ガス、下水道、NTT など）の埋設管

ウ 太さは、細線、太線、極太線の3種類を使用し、比率は、細線:太線:極太線=1:2:4を標準とする。線の太さは、0.18, 0.35, 0.70mm とする。

上記の数値は、CAD データを紙に出力する場合の規定値である。実際に出図される線の太さは出力装置により異なるため、近似値としてよい。

(5) 文字

文字フォントは MS ゴシックを標準とする。フォントサイズは以下を標準とする。

表- 2.4 フォントサイズ

サイズ	主な用途
2.5mm	平面図内文字，鉄筋番号，標題や材料表内の縮小文字等
3.5mm	寸法文字，引き出し線文字，表題や材料表文字，注記等
5mm	引き出し文字，表題文字，サブタイトル文字 (1)
7mm	サブタイトル文字 (2)
10mm	図面タイトル文字
14, 20mm	その他のタイトル文字

ア 使用できる文字

CAD で文字を書く場合は，CAD ソフトの機能とフォントに依存するため，特定機種固有の文字は使用しないものとし，製図に用いる文字に類似した文字を適用する。JIS コードに載っていない表現をするときには，図形との組み合わせ等によって表す。また，JIS コードに規定されていない平方メートルやパーミルといった単位記号は使用しない。

イ 縦書きの際の留意点

CAD で縦書きをする場合は，文字列として入力するとともに，全角文字 (JIS X 0208 で規定される文字のうち，数字とラテン文字を除いたもの) を用いることを基本とする。

3 管路

3.1 図面の種類および順番

図面の種類，記載すべき内容および順番は表- 3.1 のとおり。

表- 3.1 図面の種類および内容

図面の種類	尺度	記載すべき内容
位置図	1/2, 500~1/5, 000 案内図：1/5, 000	設計箇所を含む地形図
管網図	1/500 案内図：1/5, 000	設計箇所を含む地形図・水道管網図
平面図	1/500, 1/250 案内図：1/5, 000	地形，管路のほか管種，寸法，布設延長， 布設位置及び付属設備の位置等
配管詳細図	FREE	使用品名，管種，口径，数量及び曲管の使用状態等
横断図	1/100, 1/50	水道管及び他埋設管の名称，形状寸法，占用位置，土被り等
構造図	FREE	個別構造物の仕上りの形状・寸法，材料，部品の組合せ等
土工標準図	FREE	掘削断面の仕上りの形状・寸法等
仮設構造図	適宜	仮設構造物の形状・寸法，材料，部品の組合せ等
給水平面図	1/500 案内図：1/5, 000	給水取り直し位置，口径，使用者名，水栓番号等
給水切替図 (給水取出標準図・給水切替一覧表)	FREE	給水切替え工の形状・寸法，材料，部品の組合せ等
仮設平面図	1/500 案内図：1/5, 000	仮配管の形状・寸法，材料，部品の組合せ，口径，使用者名，水栓番号等
仮給水切替図 (仮給水取出標準図・仮給水切替一覧表)	FREE	仮給水切替え工の形状・寸法，材料，部品の組合せ等
舗装復旧平面図	1/500 案内図：1/5, 000	舗装範囲・種別・面積及び区画線位置・種別・延長等

3.2 寸法単位

- (1) 寸法単位は原則として「mm」とし単位をつけない。ただし、布設及び撤去延長は「m」表示とし、小数第2位まで記入する。オフセット距離は「m」表示とし、小数第2位まで記入すること。「mm」以外の単位による場合は、使用単位を明示する。
- (2) 図面における寸法単位は（表- 3.2）のとおりとし、規定数値以下を四捨五入する。

表- 3.2 寸法単位

設計図の種別	種別	単位	数値
平面図等	管延長	m	0.01
	土被り	m	0.01
	オフセット	m	0.01
	道路幅員	m	0.01
	土工延長	m	0.01
配管詳細図	管材料寸法	mm	1
舗装図	舗装厚	mm	1
	舗装面積	m ²	0.1
	区画線延長	m	0.01 (合計は 0.1)

3.3 位置図

- (1) 縮尺は、位置図は 1/2,500 から 1/5,000 程度、案内図は 1/5,000 とする。
- (2) 施工箇所を地図上に赤線で表示し、その他主要な地物情報を記載する。
※地形データ（市販地図等）を利用する。
- (3) 方位は図面の上方を北とし、方位記号を左肩に明記する。
- (4) 地形は計画線より薄い色（グレー等）とする。

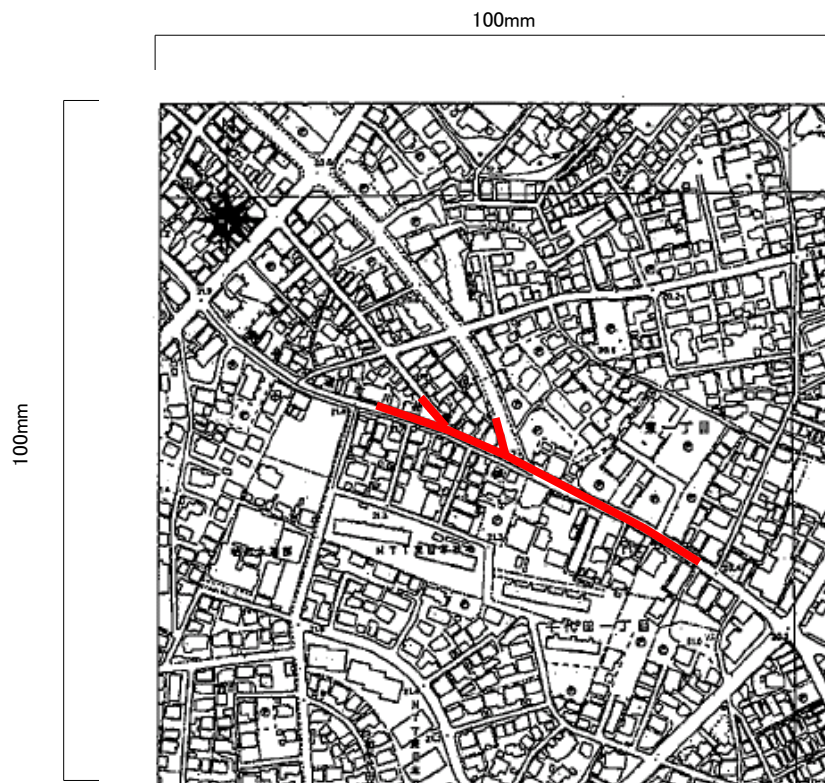


図- 3.1 案内図（例）

3.4 管網図

- (1) 縮尺は管網図は 1/500、案内図は 1/5,000 とする。
- (2) 施工箇所を地図上に赤線で表示し、その他主要な地物情報を記載する。
※地形データ（市販地図等）を利用する。
- (3) 方位は図面の上方を北とし、方位記号を左肩に明記する。
- (4) 地形は計画線より薄い色（グレー等）とする。

3.5 平面図

- (1) 縮尺は 1/500, 1/250, 案内図は 1/5,000 とする。
- (2) 方位は図面の上方を北とするが、やむを得ない場合は上方（北）を中心として、左右 90° 以内の方向で記入する。
- (3) 地形の記入は下記により行うものとする。
 - ア 地形は最新の下水道台帳、道路台帳、都市計画図により記入する。
 - イ 私道の場合は道路台帳平面図に記載の隣接道路との接合に十分留意し、実測平面測量により記入する。
- (4) 管路及び弁栓類等は表- 3.3 図示記号により記入する。
- (5) 地形、管路のほか管種、寸法、布設延長(実測水平延長)、布設位置及び付属設備の位置等を記入する。また、道路の区別(国道・県道)、名称、舗装種別、河川名称(流水方向含む)、町丁名、地番(住居番号)、主要な施設、鉄道、家屋名、その他必要な事項を記入する。
- (6) 現況線と旗上げや引き出し線などとの重なりは極力避ける。
- (7) 旗上げは 6 段とし、総延長(管径、管種ごと)、バルブなどでの分岐延長、撤去、土留め、土工タイプおよび延長、昼夜を記載する。
- (8) 工事範囲末端部はバルブ端とし、排水施設、給水装置は工事延長に含まない。

3.6 配管詳細図

- (1) 縮尺は FREE とする。
- (2) 配管図は、工事始点から終点までの配管割付を、表- 3.3 図示記号を用いて明示し、使用品名、管種、口径、数量等を旗上げにより明示する。
- (3) 案内図(1/5,000)を明示する。
- (4) 文字の高さは 3.5mm を主体とする。
- (5) 仕切弁部、T 字管枝部の延長を記入する。また、泥吐弁より先の鑄鉄管は配水管として延長を記入する。
- (6) レイヤを分けて必要一体化長さ・部材延長を記載する(印刷設定を非表示とする)。
- (7) レイヤを分けて切管延長を記載する。
- (8) 「N=○」という省略表記は、ライナーや特殊押し輪等の固める箇所は省略せずに描き、他の可能な部分は「N=○」の表記で省略しても良い。
- (9) 詳細横断図には他企業管を詳細に明記し、寸法を記入する。
- (10) 泥吐弁の接続箇所(既設側溝等)を可能な限り明記すること。

- (11) 凍結工法を使用する場合は布設年度（1988 年以前 or1989 年度以降）を表記すること。

3.7 横断図

- (1) 縮尺は 1/100, 1/50 とする。
- (2) 旗上げは全幅員, 占用位置, 掘削幅とするが, 全幅員が広く, 水道管が埋設されておらず, 新規布設を行わない部分は, 表示を省略してもよい。
- (3) 横断図は 40m ピッチとし, 起終点を入れる。
- (4) 横断図の範囲は各種境界線から 3m 以上とし, 近接構造物の状況がわかる範囲まで記載する。
- (5) 横断図には, 水道管及び他企業の埋設管についての名称, 形状寸法, 占用位置, 土被り等を路線ごとに 1 箇所以上記入する。
※ガス管 (φ50mm, PE, DP=1.20) など
- (6) 試掘又は調査等により採取したデータについては, その現況を反映する。
- (7) 文字の高さは 3.5mm, 線の太さは 0.35mm を主体とする。

3.8 構造図

- (1) 構造図には, 各種構造物名と形状, 構造物の基礎形状及びその材質, 形状図, 寸法, 寸法表を記載する。
- (2) 平面図などと同一記号を用いて記載する。
- (3) 注記(基礎厚等), 地盤面等必要な図形情報がある場合は適宜記載する。
- (4) 当該工事で使用するものを表記すること。

3.9 土工標準図

- (1) 掘削断面の仕上りの形状・寸法等を記載する。
- (2) 標準掘削断面図, 土留工標準図は参考図扱いとする。
- (3) 設計路線の舗装構成を事前に調査し, 記載すること

3.10 仮設構造図

仮設構造物の形状・寸法，材料，部品の組合せ等を記載する。

3.11 給水平面図

- (1) 給水取り直し位置，口径等を記載する。
- (2) 取り直しする給水の番号・使用者名・水栓番号を記載し，レイヤを分けること。また，使用者名は印刷設定を非表示とすること。

3.12 給水切替図（給水取出標準図・給水切替一覧表）

- (1) 給水切替え工の形状・寸法，材料，部品の組合せ等を記載する。
- (2) 使用者名は別レイヤとし，印刷設定を非表示とすること。

3.13 仮設平面図

- (1) 仮配管の形状・寸法，材料，部品の組合せ等を記載する
- (2) 土留工については任意仮設であり，積算上の参考として表記する。
- (3) 「参考図」の注釈を記載する。
- (4) 仮配管にリース管を使用する場合は，別途配管詳細図を作成すること。
- (5) 旗上げは2段とし，総延長（管径，管種ごと），舗装構成を記載する。
- (6) 不断水連絡工・管路断水器設置工・凍結工・サドル分水栓建込工を旗上げし，土留工が必要な場合は下段に記載すること。
- (7) 連絡箇所・仮設仕切弁設置箇所・仮設消火栓設置箇所・上越し・下越し箇所・排泥箇所等は図上を丸囲み，図内に詳細図を作成すること。

3.14 仮給水切替図（仮給水取出標準図・仮給水切替一覧表）

- (1) 仮給水切替え工の形状・寸法，材料，部品の組合せ等を記載する。
- (2) 使用者名は別レイヤとし，印刷設定を非表示とすること。

3.15 舗装復旧平面図

- (1) 舗装工の種別・面積，区画線延長等を記載する。
- (2) 舗装切断延長の集計を別途行うこと。

3.16 図示記号

図示記号を表- 3.3、3.4に、継手表示を表- 3.5に示す。

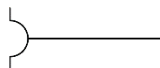

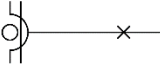

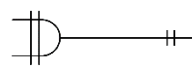
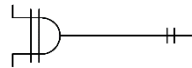
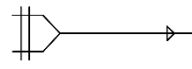

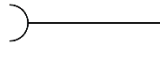

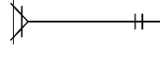
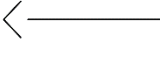
表- 3.3 図示記号(平面図・詳細図, ダクタイル鋳鉄管)

平 面 図		詳 細 図	
既設埋設管	水道 DIP・A φ100 DP=1.20 (企業名, 管種, 管径, 深さ)	口の形 DIP	
新設水道管	DIP・GX φ100 L=50.0m (管種, 管径, 延長)	曲管	平面曲げ 縦断曲げ
汚水, 雨水		T字管	
ガ ス		うず巻式 フランジ付きT字管	
電 気		乙字管	平面 縦断
電 話		片落管	受挿 挿受
消火栓 地下式双口		継ぎ輪	
消火栓 地下式単口		両受短管	
空気弁付き消火栓		短管	短管1号 短管2号
空気弁単口		帽	
仕切弁		仕切弁	両受 受挿
管路断水器		G-Link	
凍結工		P-Link	
エアバッグ		ライナ	
排水栓		消火栓, 空気弁	
排泥装置		連絡工	
帽, 栓		止水工	管路断水器 凍結工 エアバッグ

表- 3.4 図示記号(配水用ポリエチレン管)

分類	名称	記号	分類	名称	記号	
E F 継手	EF ソケット		メカニカル継手	メカニカルフランジ短管		
	EF ベンド			メカニカルフランジレデューサ		
	EF S ベンド			メカニカルキャップ		
	EF チーズ			メカニカル三方チーズ		
	フランジ付 EF チーズ			フランジ付メカニカルチーズ		
	EF フランジ			フランジ付メカニカルチーズ(台付)		
	EF キャップ			フランジ付メカニカルチーズ うずまき形		
	EF 片受ベンド			メカニカルベンド		
	EF 片受Sベンド			フランジ付メカニカルベンド消火栓		
	EF 片受チーズ			メカニカルレデューサ		
	フランジ付 EF 片受チーズ					HPPE DIP
	EF 片受レデューサ					HPPE VP
	分水 EF サドル			メカニカル形ソフトシール仕切弁		
	分水栓付 EF サドル			サドル付分水栓(鑄鉄サドル)		
	スピゴット継手	ベンド			P E 挿し口付継手	不断水分岐割 T 字管
S ベンド			ソフトシール仕切弁 挿し口形 (両挿し口)			
レデューサ			ソフトシール仕切弁 EF 片受形			
フランジ			フランジ付 T 字管			
チーズ			フランジ付 T 字管 うずまき形			
フランジ付チーズ			フランジ短管			
キャップ			K 形ダクタイル鑄鉄管用異種管継手			
メカニカル継手	PVC 管用異種管継手(径違い)		K 形ダクタイル鑄鉄管用異種管継手 (径違い)			
	メカニカルソケット		K 形ダクタイル鑄鉄管用異種管継手 メカニカル形			
			K 形ダクタイル鑄鉄管用異種管継手 メカニカル形(径違い)			
			PVC 管用異種管継手			

表- 3.5 継手表示

継 手 表 示	
A形	
K形	
KF形	
T形	
S形	
SⅡ形	
NS形	
GX形	
PEP	
フランジ	
PN形	
VP形	

4 付属資料

4.1 レイヤ名一覧

表- 4.1(1) レイヤ名一覧

柏市水道部のレイヤ(基本レイヤ)

図面オブジェクト	図面要素	レイヤの内容	線色	線種	太さmm	背景色が黒の場合の線
TTL 外枠	TTL	外枠	黄	実線	0.70	
	TTL-FRAM	タイトル枠	黄	実線	0.35	
	TTL-LINE	区切り線	白	実線	0.35	
	TTL-TXT	文字列	白	実線	0.35	
BGD 現況	BGD	現況地物	白	実線	0.18	
	BGD-BGD1	接続埋設物	白	破線	0.35	
	BGD-BGD2	埋設物	白	二点鎖線	0.18	
	BGD-RSTR	ラスタ化された地図	白	実線	0.18	
BMK 基準線	BGD-HTXT	旗上げ	白	実線	0.18	
	BMK	構造物基準線	黄	一点鎖線	0.35	
	BMK-SRVR	基準となる点(測点)	緑	実線	0.35	
	BMK-ROW	用地境界	橙	実線	0.18	
STR 主構造	BMK-HTXT	旗上げ	白	実線	0.18	
	STR	主構造物外形線	赤	実線	0.70	
	STR-STR1	構造物1	赤	実線	0.70	
	STR-STR2	構造物2	青紫	実線	0.70	
	STR-DIM	寸法線, 寸法値	白	実線	0.35	
	STR-TXT	文字列	白	実線	0.35	
MTR 材料表	STR-HTXT	旗上げ	白	実線	0.35	
	MTR	材料表タイトル	白	実線	0.18	
	MTR-FRAM	材料表図枠	白	実線	0.18	
DCR 塗りつぶし	MTR-TXT	文字列	白	実線	0.18	
	DCR-HCH1	ハッチ部1	白	実線	0.18	
	DCR-HCH2	ハッチ部1	橙	実線	0.18	

平面図

図面オブジェクト	図面要素	レイヤの内容	線色	線種	太さmm	背景色が黒の場合の線
TTL 外枠	TTL	外枠	黄	実線	0.70	
	TTL-FRAM	タイトル枠	黄	実線	0.35	
	TTL-LINE	区切り線	白	実線	0.35	
	TTL-TXT	文字列	白	実線	0.35	
BGD 現況	BGD	現況地物	白	実線	0.18	
	BGD-BGD1	連絡する既設管	白	破線	0.35	
	BGD-BGD2	他企業埋設管	白	二点鎖線	0.18	
	BGD-RSTR	ラスタ化された地図	白	実線	0.18	
	BGD-HTXT	旗上げ	白	実線	0.18	
BMK 基準線	BMK	構造物基準線	黄	一点鎖線	0.35	
	BMK-SRVR	基準となる点(測点)	緑	実線	0.35	
	BMK-ROW	用地境界	橙	実線	0.18	
	BMK-HTXT	旗上げ	白	実線	0.18	
STR 主構造	STR	計画管	赤	実線	0.70	
	STR-STR1	計画管	赤	実線	0.70	
	STR-STR2	計画管	青紫	実線	0.70	
	STR-DIM	寸法線, 寸法値	白	実線	0.35	
	STR-TXT	文字列	白	実線	0.35	
	STR-HTXT	旗上げ	白	実線	0.35	

表- 4.1(2) レイヤ名一覧

横断面図

図面オブジェクト	図面要素	レイヤの内容	線色	線種	太さmm	背景色が黒の場合の線
TTL 外枠	TTL	外枠	黄	実線	0.70	
	TTL-FRAM	タイトル枠	黄	実線	0.35	
	TTL-LINE	区切り線	白	実線	0.35	
	TTL-TXT	文字列	白	実線	0.35	
BGD 現況	BGD	現況地物	白	実線	0.18	
	BGD-RSTR	ラスタ化された地図	白	実線	0.18	
	BGD-HTXT	旗上げ	白	実線	0.18	
BMK 基準線	BMK	構造物基準線	黄	一点鎖線	0.35	
	BMK-SRVR	基準となる点(測点)	緑	実線	0.35	
	BMK-ROW	用地境界	橙	実線	0.18	
	BMK-HTXT	旗上げ	白	実線	0.18	
STR 主構造	STR	計画管	赤	実線	0.35	
	STR-DIM	寸法線, 寸法値	白	実線	0.35	
	STR-TXT	文字列	白	実線	0.35	
	STR-HTXT	旗上げ	白	実線	0.35	

詳細図

図面オブジェクト	図面要素	レイヤの内容	線色	線種	太さmm	背景色が黒の場合の線
TTL 外枠	TTL	外枠	黄	実線	0.70	
	TTL-FRAM	タイトル枠	黄	実線	0.35	
	TTL-LINE	区切り線	白	実線	0.35	
	TTL-TXT	文字列	白	実線	0.35	
BMK 基準線	BMK	構造物基準線	黄	一点鎖線	0.35	
	BMK-SRVR	基準となる点(測点)	緑	実線	0.35	
STR 主構造	STR	計画管	赤	実線	0.35	
	STR-DIM1	寸法線, 寸法値	白	実線	0.18	
	STR-DIM2	切管寸法	白	実線	0.18	
	STR-DIM2	拘束長	白	実線	0.35	
	STR-TXT	文字列	白	実線	0.35	
STR-HTXT	旗上げ	白	実線	0.35		

構造図

図面オブジェクト	図面要素	レイヤの内容	線色	線種	太さmm	背景色が黒の場合の線
TTL 外枠	TTL	外枠	黄	実線	0.70	
	TTL-FRAM	タイトル枠	黄	実線	0.35	
	TTL-LINE	区切り線	白	実線	0.35	
	TTL-TXT	文字列	白	実線	0.35	
BMK 基準線	BMK	構造物基準線	黄	一点鎖線	0.35	
	BMK-SRVR	基準となる点(測点)	緑	実線	0.35	
STR 主構造	STR	計画管	赤	実線	0.35	
	STR-DIM	寸法線, 寸法値	白	実線	0.18	
	STR-TXT	文字列	白	実線	0.35	
	STR-HTXT	旗上げ	白	実線	0.35	

4.2 見本図面

表- 4.2 見本図面リスト (A4 版)

番号	名称	備考
1	管布設土工標準図	標準掘削断面図
2	標準復旧断面図	簡易舗装・二層舗装・二層舗装 (切削)
3	仮設配管土工標準図	簡易舗装の場合
4	土留工標準図	矢板の場合
5	仕切弁設置図	浅層タイプ・レジン Co 弁室タイプ ・RC 造弁室タイプ
6	消火栓設置図	標準・排気弁付・空気弁付
7	排水栓設置図	
8	空気弁設置図	
9	防護コンクリート図	フランジ型既存仕切弁
10	ポリエチレンスリーブ被覆工	
11	不断水連絡土工標準図	
12	管路断水器土工標準図	
13	凍結工法土工標準図	
14	給水管取出標準図	タイプ別 (A・B・C・C (PP) ・D)
15	仮給水管取出標準図	口径別 (ϕ 20~50mm)
16	道路覆工標準図	

表- 4.3 見本図面リスト (A1 版)

番号	名称	備考
1	位置図	
2	管網図	
3	平面図	
4	配管詳細図	
5	横断図	
6	構造図	
7	土工標準図	
8	給水平面図	
9	給水切替図 (1)	給水取出標準図
10	給水切替図 (2)	給水切替一覧表
11	仮設平面図	
12	仮設切替図	仮給水取出標準図・仮給水切替一覧表
13	舗装復旧平面図	